

### 第3期 維持管理グループ活動報告

リーダー：堀井安雄（株クボタ）

最終処分場技術システム研究会では、計画／設計／施工／維持管理の4つの研究グループから構成されています。最終処分場施設が、廃棄物処理の最終ランナーとして適正かつ安全に廃棄物を処分することが求められていると同様に最終処分場の管理は、今日的課題としてアンカーとしての重要な役割がでてきています。いかに適正かつ安全性の高い計画／設計／施工がなされても、求められる諸機能が発揮できるように管理がなされなければ、安全で信頼性の高い処分場の運営はできないからであります。真に地域住民から信頼されて受け入れられる処分場とは、遮水機能の保持による地下水汚染防止や浸出水の高度処理による水質汚濁防止にとどまらず、処分場の埋立管理が適正かつ地域住民への環境管理データの情報発信を行うこと等が重要と認識しています。このような視点から、次の3分科会を構成して3カ年間研究活動を積極的に進めてきて、種々の成果を得ています。

- 1) 浸出水中の未規制物質の挙動と適正管理方法研究分科会
  - 2) 高密度埋立工法の研究分科会
  - 3) インターフェイス研究分科会
- 詳細は、各分科会報告をご覧ください。